



COVID-19

Please complete the following questions

Name: _____ Phone: _____

Date: _____ Time: _____

Email: _____

Do you have any of the following:



Yes
No

Fever



Yes
No

Cough



Yes
No

Difficulty breathing



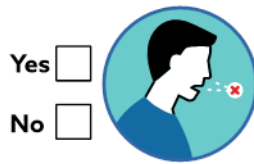
Yes
No

Sore throat,
trouble swallowing



Yes
No

Runny nose



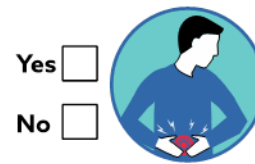
Yes
No

Loss of taste or
smell



Yes
No

Not feeling well



Yes
No

Nausea, vomiting,
diarrhea

Yes Have you been in close contact with someone who is
No sick or has confirmed COVID-19 in the past 14 days?

Yes Have you returned from travel outside Canada in the
No past 14 days?

**If you answered YES to any of these questions,
go home & self-isolate right away. Call Telehealth
or your health care provider, to find out if you
need a test.**

TORONTO.CA/COVID19

TORONTO Public Health

法要参拝における規定と注意事項

COVID-19のリスクを最小限にとどめるため以下の項目を厳守してください。

1. 祥月法要を含む日曜日法座への参拝を希望される方はその週の水曜日までに寺院のEメール、ウェブサイト、電話から事前予約をお願い致します。事前予約はその週の月曜日から受け付けます。子どもを含むすべての人の予約が必要です。予約をする際、ご家族や親族など共に参列する人を教示ください。
2. ボランティアと職員も含めた各参拝者が正面玄関にて手の消毒と健康状態を記載する。30日間はこの健康状態の情報を寺院で保管しその後破棄します。参拝時は法要開始時間より早めに来ていただき、参拝プロセスと人との物理的距離を保てるようにしてください。
3. 過去2週間に海外へ渡航された方、気分がすぐれない方、健康状態のアンケートにひっかかる方、またCOVID-19感染の疑いがある方は自宅にて待機してください。Facebookを通しての法要参拝ができます。
4. トロント市の541 - 2020条約に基づき駐車場を含む寺院の敷地内では必ずマスクを着用して下さい。
 - トロント仏教会は使い捨ての非医療用マスク・布製マスクの販売をしております。参拝時にマスクを忘れた際にご利用ください。
 - なんらかの事情でマスクを着用できない方は寺院からの退室をお願い致します。ご自身だけでなく、周囲の方へのご考慮もよろしく申し上げます。
5. 参拝プロセスを終えられた方は、本堂へ速やかに移動し指定の席にお座り下さい。椅子の移動はご遠慮ください。お困りの際は近くのスタッフにお声かけ下さい。
6. 念珠や門徒式章、経本をお持ちの方は各自ご持参ください。寺院での貸し出しはしておりません。
7. 本堂内での讃仏歌の合唱と読経は禁止となるので黙読をお願い致します。(開教使と開教使アシスタントは除く)
8. 各ご門徒方によるお焼香の作法は中止し合掌のみとさせていただきます。各自お布施は指定された箱にお入れください。
9. 法要後は建物の消毒等がありますので、参拝された方は速やかに外へご案内させていただきます。
10. 2階と地下のソーシャルホールへの立ち入りは禁止です。地下階のお手洗いは緊急時のみとさせていただきます。
11. エレベーターはお一人またはその家族の人のみの使用となります。

To Register for Services:法要参拝の事前予約

寺院のウェブサイトから <https://tbc.on.ca/>

寺院のEメールから: tbc@tbc.on.ca

寺院の電話番号から: 416-534-4302

寺院での法要再開において

この度トロント仏教会では寺院を再開するにあたって9月13日(日曜日)より**法要時のみ**開門することが決まりました。開門は法要開始の一時間前(午前10時より)となります。

また開門するにあたりCOVID-19の集団感染ならびに発症は極めて危険なものであり、危機管理を皆様のご協力のもと寺院でも徹底していく次第です。それゆえ地方及びカナダ国の定めた規則と国際勧告に基づき細心の注意を徹底いたします。お寺にお越しになる際は、時間をかけて記載されているすべての注意事項と手順をご確認いただき、ご自身でも新しい規則を順守してください。

新しく設けた安全性に関わる重要な規定

法要参拝にあたり以下の注意事項をお読みください。

- 本堂への収容人数は50人以下となる。
- 法要参拝には事前予約が必要となる。
- 各参拝者(子どもを含む)は、健康状態を確認するアンケートに毎回(各法要)答える。
- 寺院にいる間は常に必ずマスクの着用、手の消毒、人との物理的距離を取る。
- 寺院は必ず各法要後に人が触る箇所等の消毒・清掃を徹底します。
- 手の届く個所に消毒液等を用意しているので各自ご利用ください。

以上の事項に従えない場合は、寺院への立ち入りをお断りさせていただくことがございます。また他の訪問者の安全性を考慮し退出をお願いすることがあります。何らかの理由で安全への規定を守ることが難しい場合は、ご自宅にてライブストリーミングで法要にご参加ください。

重要な変更事項

- 祥月法要はできるだけ多くの方が参加できるよう各月3回行います。祥月法要の詳細につきましては寺院のスケジュールとウェブサイトをご参照ください。
- (開教使と開教使アシスタントは除く)本堂内での讃仏歌の合唱と読経は禁止となるので黙読をお願い致します。
- 経本、御念珠、補聴器、門徒式章の貸し出しは行っておりません。
- お布施は指定された箱にお入れください。
- 法要後のお茶会は中止させていただきます。

寺院再開にあたり込み合う可能性があります。そのため9月の祥月法要は、9月に亡くなられた遺族を中心に参拝していただければ幸いです。たとえ寺院側で感染リスクの予防に注意を払っていたとしても、最終的には個人個人のリスクマネジメントが重要となっていきます。皆様のご協力とご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

ご質問やご意見のある方は寺院までお知らせください。皆様とお会いできるのをこころより楽しみにしております。

合掌

トロント仏教会 門徒総代会

佛心



たとえ過ぎ去っても...

「時間」というのは大変おもしろいものです。先日ひさしぶりに自宅のテレビで映画を観ようとしてNetflixをつけました。しかし、予告を見ていてもなかなかピンとくるものがなく、気がつけば観たい映画を探すだけで一時間半ものとき(一本分の映画がまるまる観られる時間)を費やしていました。なんとも情けなくもつたいたいことをしたと後悔しました。

誰もがご存知のように一秒は一秒です。そして一分はその一秒がちょうど六十回刻まれた単位です。さらに一時間はその一分がこれもまたちょうど六十回刻まれた単位です。しかし私たちはその単位として同じであるはずの時間をときとして長く遅く感じたり、短く早く感じたりします。例えば、私は中学校高校の歴史の時間があまり好きではありませんでした。そのため授業中に何度も時計の針を見ては「時計が壊れているんじゃないか?」と思うほど、時間の流れというものは遅いものでした。しかし楽しい時間を過ごしていると、まるでその一時間がじつは一分間であったかのように早く感じてしまいます。

そんなとき思い出したのが、ある御門徒さんからいただいた一件のメールでした。その御門徒さんは若くしてご主人を亡くされており、メールをいただいたのはそれからちょうど一年が経ったときでし

二〇二〇年一〇月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

た。彼女はそのメールの文末に「改めて振り返ると夫を亡くしてあれからもう一年が経とうとしている。時間の流れはなんとも早く過ぎていくものだと感じずにはいられない。」といった内容が書かれていました。このメールを読んだとき、いまは少しずつでも日常の生活に戻りつつあるのかなど安心しました。それと同時に時間の流れの早さはときとして怖いものではあるが、同時にときとしてその感覚は私たちに必要なものであるとも感じました。

もちろん私たちは生きていく上で愛しき亡き人のことを忘れるべきではないし、そもそも忘れることなんてできません。しかしずっとその人の死を悲観し想い続けるのは大変つらく苦しいことでもあります。そのとき、時間の流れというものが私たちの苦しみを少しでも薄れさせてくれるのであれば、それは大いに価値のあるものだと思います。そして日常生活に戻っていくら時間が過ぎ去ったとしても、亡き人との思い出の場所やその人が好きだった映画、音楽、料理、絵画、言葉などに触れると、その人との愛しき思い出はいつまでも薄れることがありません。

浄土真宗の僧侶で中西智海先生という方がなんとも温かく優しい詩を残されています。

「人は去っても、その人の微笑みは去らない。
人は去っても、その人の言葉は去らない。
人は去っても、その人の温もりは去らない。
人は去っても、その人の温もりは去らない。」

個人的なことですが、今月は私の祖母の七回忌にあたる月でした。その祖母とは生まれたときからずっと同じ家で暮らしてきました。

私が高校生のとき友人と夜遅くまで遊んで帰りが遅くなると祖母からよく怒られたものです。そんなある日帰りが遅くなり、抜き足差し足忍び足で自分の部屋まで戻っていると、それ以上の忍び足で祖母が近づいてきて、突然私の目の前に表れました。ビックリすると同時にまた怒られるなあ、と鬱陶しい顔をしていました。するとそんな私の顔を見てか祖母は何も言わず寝室へと戻って行くのでした。その後ろ姿を見たときになんとも情けない自分の姿がありました。そして、いまとなつては当時あれだけ鬱陶しかった祖母の心配ごころもが何とも申し訳なく、またいつまでも心配してくれた有り難さに頭が上がりません。

今月で七回忌を迎えるということは、それは祖母が亡くなってちょうど六年という時間が過ぎ去ったことを意味します。しかし、いくら時間が経っても亡き人の笑顔、言葉、温もりは薄れることなく、心に残ってくれます。

そして、それはこれからまたとえ時間が流れていき日常生活を送っていったとしても、愛しくも亡き人との思い出は、この拝む手のなかに仏様のお慈悲と一緒に帰ってきてくれる。その拝む手のご縁をいただき、また改めて阿弥陀如来のお慈悲のあたたかさに気付かせていただけたことに、またこの手が合わさります。

合掌

大内祐真